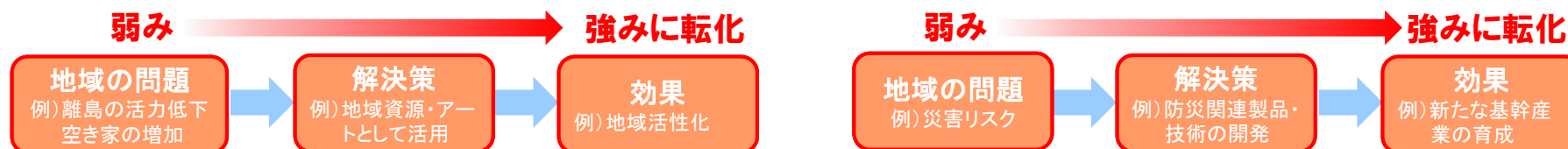


①弱みを強みに変える

- 四国圏は、全国に先駆けて進行している人口減少や少子高齢化、南海トラフ地震などの巨大災害の発生リスクなど課題先進地域である。
- これらの課題解決への挑戦を通じて、豊かな社会の実現や新たなビジネスの創出など、全国へ展開可能な先進モデルを構築し、新たな四国の成長力を生み出すとともに、四国に暮らす人々が未来に希望を持てるようにする。



<例1> 瀬戸内国際芸術祭

- 瀬戸内海の島々は、高度成長期以降、人口減少・少子高齢化の進行や空き家の増加等により活力が低下していた。
- そのような中、これらの島々を舞台とした現代美術の国際芸術祭を2010年から3年ごとに開催しており、空き家をアート作品そのものやアートを展示する美術館のように再生することで、地域活性化に取り組んでいる。



▲瀬戸内国際芸術祭2025ポスター



▲公式ツアーの様子（2025年）

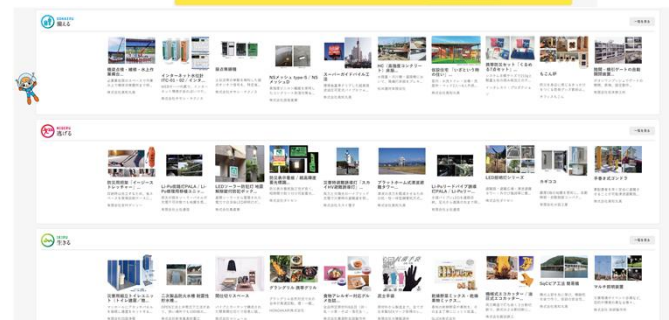


▲取材の様子（2025年）

出典：瀬戸内国際芸術祭2025 開催報告

<例2> 高知県の官民連携による防災関連商品開発・製造の取組

- 高知県は、南海トラフ地震により県土の広範囲で津波被害が想定されるほか、台風や集中豪雨など多くの風水害に見舞われてきた。
- 近年では、高知県の官民一体となって防災関連製品・技術を県内外で活用し、地域経済の活性化、災害対策の更なる推進など「防災産業の振興」に取り組んでいる。



◀高知の企業が作った防災グッズ紹介

出典：高知防災Webサイト（高知県HP）

②多様性を活かし、連携による総合力を発揮

- 四国4県、各地域の多様性や独自性を伸ばし生かすとともに、必要な連携を図ることで総合力を発揮する。
- 多様な人材、事業者が結集することで、地域課題に対応したローカルビジネスを創出する。



<例1> 四国の銀行4行による地域商社の設立

- 四国の活性化や創生に取り組むため、四国の4行（阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行）が、2020年4月に共同出資による地域商社「Shikokuブランド株式会社」を設立。
- 四国各県には特徴や魅力のある資源が存在。これらのブランディングや販路開拓までをワンストップでサポートし相乗効果を創出。



<例2> 地元企業の協働による問題解決の素地(香川県三豊市)

- 香川県三豊市では、地元企業が共同で協力し合い、地域の問題解決への取組によるイノベーション創出が盛んである。

浦島ヴィレッジ（宿泊施設）

- 父母ヶ浜が人気となり観光客が急増したが、地域に宿泊施設が少なく、地域経済の発展に生かし切れていない状況。
- こうした危機感を背景に、地元企業等11社が出資した瀬戸内ビレッジ株式会社が、一棟貸しの宿を2021年に開業。



出典：浦島ヴィレッジHP

瀬戸内暮らしの大学（生涯学習）

- 地元の18の企業・個人が参画し開校した、年齢や居住地に関係なく全ての人が一生涯学べる市民大学として2022年7月に開校。
- 地域全体を学びの場として、教わる側だけでなく教える側にも携われる、学びのプラットフォーム。



出典：瀬戸内暮らしの大学HP

瀬戸内ワークスレジデンス GATE（シェアハウス）

- 2020年2月に瀬戸内ワークス株式会社が地域の空き家を活用し開設したシェアハウス。
- 移住者や二地域居住者を対象に、住まいだけでなく地域の仕事の紹介・提供や、地域コミュニティとのつながりもサポートする滞在施設。



出典：瀬戸内ワークスレジデンスGATE HP

③多能な人材と多機能な施設

- 一人が複数の役割を担うことで、地域の担い手や事業継承者として活躍できる。
- 施設整備においては、多面的、複合的な施設づくりにより、整備効果を最大限発揮できる。

1人で複数の仕事を掛け持ちするケースの違い

- **副業**：主となる仕事（本業）とは別に仕事を持つこと
- **兼業**：職務以外の他の業務にも従事すること
- **マルチワーク**：季節ごとの労働需要に応じて複数の事業所で働くこと

<例1> 特定地域づくり事業協同組合

- 人口減少・高齢化が急速に進展する農山漁村において、地域の担い手確保の新たな枠組として、繁忙期の異なる複数の仕事を担う人材（マルチワーカー）を雇用し、地域の事業者へ派遣することで、安定的な雇用環境や一定の給与水準を確保する「特定地域づくり事業」を担う組合の設立を推進。
- 令和8年4月時点で、四国圏では10の事業協同組合が認定。

阿波かつうらワークス協同組合 (徳島県勝浦町)



出典：とくしま移住交流促進センターHP

しまんと川きたや協同組合 (高知県四万十市)



出典：しまんと川きたや協同組合HP



複数の異なる施設

<例2> オーテピア高知図書館 (高知県高知市)

- 高知県立図書館と高知市民図書館を融合した図書館であり、県市の図書館を一体的に整備した国内初の取り組み。
- 県と市が1つの施設の中で、各々の役割を明確にし、相互に連携した総合サービスを展開しており、利用者は県市の図書を区別なく利用することが可能。
- 「高知声と点字の図書館」、「高知みらい科学館」を併設した複合施設としても機能。周囲の商業店舗のアーケードから図書館までを直結する遊歩道を整備し、まちの賑わい創出にも寄与。



▲オーテピア高知図書館 外観

出典：高知県HP



▲館内の様子

出典：高知市HP

④四国ならではの豊かさの再認識

- 四国圏は、豊富な自然や長い歴史の中で生まれた個性ある文化、暮らしやすさなど四国ならではの豊かさが存在している。
- これらの豊かさは、四国圏の人々にとって当たり前の環境であるが、四国圏外の人々にとって魅力的な環境として、近年、世界からも注目されている。
- 四国ならではの豊かさを再認識し、地域の特徴を最大限に活用した取り組みを行っていく。

<例1> 世界から注目される四国の自然や歴史文化

- 「Lonely Planet Best in Travel 2022」
日本から唯一「四国」が選出（地域部門 第6位）



▲四国遍路（1番札所 雲山寺）

出典：四国遍路世界遺産登録推進協議会事務局HP

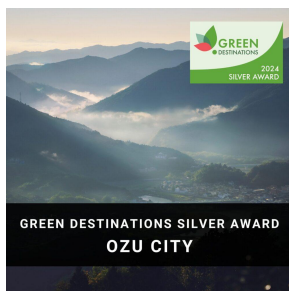


▲祖谷溪（徳島県）

出典：徳島県・（一財）徳島県観光協会HP

- 「世界の持続可能な観光地」の公式認証機関グリーン・デスティネーションズから、愛媛県大洲市と小豆島（香川県土庄町・小豆島町）がシルバーアワード※を受賞(2024年)

※シルバーアワード：6つの分野（観光地マネジメント、自然・景観、環境・気候、文化・伝統、社会福祉、ビジネス＆コミュニケーション）における達成度の総合平均が70%以上の場合に認定



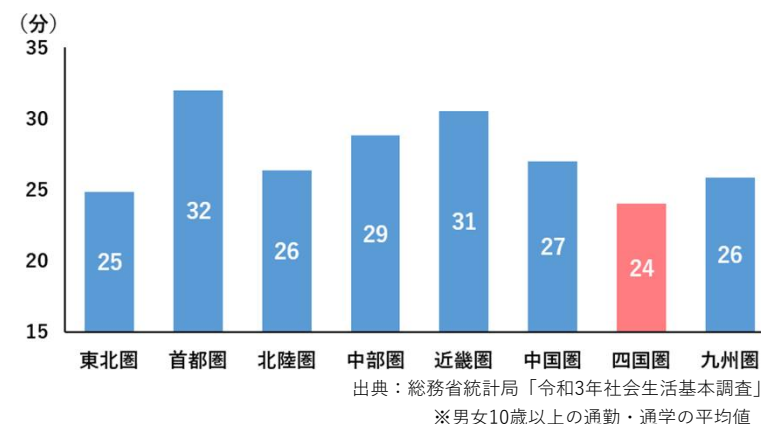
出典：（一社）キタ・マネジメントHP



出典：小豆島町HP

<例2> 暮らしやすい四国

- 他圏域と比べて通勤・通学時間が短い



- 他圏域と比べて余暇時間が長い

